

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 23 年度 第 3 回常任理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 23 年 6 月 23 日 午後 6:30～午後 8:00
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 8 名（書面表決書 4 名）  
出席者（佐藤文宏、宇佐美彰朗、山西哲郎、保原幸夫、吉村豊、岩山海渡、釜崎太、  
近藤克之 敬称略）  
書面表決書（岡田繁、岡田英孝、藤田豊、鈴木良雄 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
  - 第 1 号議案 前回常任理事会（5 月 26 日開催分）議事録に関する件（報告）  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
  - 第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告・審議）  
議事録署名人として近藤克之氏と岩山海渡氏が選出された。
  - 第 3 号議案 平成 22 年度事業報告書等について（報告・審議）  
保原氏より事前に配布された総会資料について説明があり、満場一致で承認された。  
（資料 1）平成 22 年度 事業報告書、  
（資料 2）平成 22 年度 財産目録、  
（資料 3&4）平成 22 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表  
（資料 5&6）平成 22 年度 その他の事業会計貸借対照表  
（資料 7）平成 22 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書  
（資料 8）平成 22 年度 その他の事業会計収支計算書  
（資料 12）前事業年度の役員名簿  
（資料 13）役員の変更届出書
  - 第 4 号議案 平成 23 年度事業計画および収支予算について（審議）  
保原氏より事前に配布された総会資料について説明があり、満場一致で承認された。  
また、継続事業の具体化および今後追加を検討する新規事業について討議を行い、下記のような意見が出された。  
（資料 9）平成 23 年度 事業計画  
（資料 10）平成 23 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書  
（資料 11）平成 23 年度 その他の事業会計収支予算書

■市民ランナー交流セミナー

大都市マラソン（東京、大阪、神戸、京都等）について考えるシンポジウムを中心にセミナーを行う。クリニック、駅伝等の同時開催を含め今後検討をする。  
素案を岩山氏が作成し、今後討議をして具体化する。

■Jリーグ百年構想と日独の市民スポーツについて

日本とドイツの「市民スポーツ」を取り上げながら、「スポーツ基本法」「Jリーグ百年構想」の意義・可能性・問題点などについて議論し、今後の「市民スポーツ」のあり方について考えるシンポジウムを開催する。釜崎氏の素案を基に今後シンポジストの人選等も含め討議して具体化する。

■「ドイツのスポーツクラブ」の研究に関するセミナー

釜崎さんの研究に関するを中心にスポーツクラブが市民スポーツ普及・発展に与える影響などに関するセミナーを開催する。

■日独サッカー交流

藤田氏が行っているサッカースクールの子どもたちとドイツのクラブの子どもたちによる交流イベントの実現性等について今後検討する。

■各種セミナー

今回、釜崎氏より説明があったように、各理事の専門分野に関する発表セミナーを理事の勉強会を兼ねて今後順次開催する。毎月実施している理事会の内、何回かをセミナー中心の会にし、会員以外の人にも広く公開し、正会員勧誘の場とする。  
具体的な実施方法については今後検討する。

セミナーのテーマ候補としては、サッカー関連（釜崎、藤田）、着衣水泳（吉村、田村）、スポーツマンの栄養（鈴木、岩山）などがあげられた。

次回以降も、案ができたものから事業の具体化について討議することになった。

第5号議案 その他

■ソロモン諸島陸上競技連盟への対応について（審議）

■次回常任理事会について（審議）

次回の常任理事会は、7月28日（木）に開催する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時15分議長は閉会を宣言し散会した。  
上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成23年6月23日


特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

佐藤文宏



議事録署名人

岩山海渡 

議事録署名人

近藤克己 